

■H25.3.2 勉強会<沼津駅周辺地区>第3回 参加者アンケート結果:9名

No	1.ステップ2勉強会(沼津駅周辺地区)のとりまとめ(案)について(ファシリテーターの説明等)	2.地域づくりの目標とその実現ための方法について(グループ検討の進め方、内容等)	3.今後の予定について	4.傍聴について(傍聴されていることに対する感想等)	その他、PIプロジェクトに関するご意見
1	JR沼津駅そのものに、どの程度の「拠点性」を持たせたいのかに関して温度差があり、その点を共通認識した点は良かったです。西武撤退後の勉強会なので、現実在即した話し合いになったと思います。	良いと思います。	・高架化すると、あといくらお金と時間がかかるのか、現実的な話ができると思います。個別に比較検討できるとありがたいです。 ・高架化の前提となっていた暗黙の事実(地価が上がる、商都である続けるなど)で崩れた部分の検証が必要かと。	気になりません。	
2					フェイスブックをもう少し活用していただけたらと思います。フェイスブック以外の情報発信の仕方に工夫してみてください。
3	初めにファシリテーターの進め方に異論があったので、進め方を改めてもらい、良好な意見交換ができたし、他のグループでも共通の認識が高まっているように感じた。		お任せします。	気にならない。	
4	声もはっきりして、上手にまとめていて良かった。	エリアマネージメントで進めているグループの話の聞きましたが、地域に住む人を巻き込んで目標を作り、行政と共に協働で進められれば良いと思う。	問題になっている地域、貨物駅の予定地、区画整理の地域(富士見町)等を、全員で一度見学してみることが必要と思いますが、如何でしょうか。	特に気にしていません。傍聴してくれることを歓迎します。	丁寧に議論を進めて行って下さい。
5		グループ内での「まちづくり」の意見は、大筋方向は同じだと感じた。ただ、非当事者(権利のない者)の空論になってしまうのでは。			高架化とまちづくりは別物との視点が必要では。まちづくり(定住者増、都市機能(文化、医、ショップ等)の充実→エリア完結(生活関連)→交流人口増)は高架化と関連しない。
6			沼津市の参加はないのか。		最終勉強会の時期を「いつまで」考えているのか。PI委員と一緒に参加しないのか。
7		誰の意見が正しい、正しくないのではなく、歴史も理解した上で、他人の意見に耳を傾けることが大切だと感じた。			運営がいいか、悪いかは言いにくい。本日、沼津はダメだと言うのではなく、どうしたら良くなるかを真剣に議論した。皆さんの意見を集約して、未来のある沼津が作れたら良いと思った。
8	考え方の違う参加者の意見を旨くまとめ、進行されていると思います。	良いと思います。	特にありません。	傍聴者がどなたかわかりません。少しご意見を聞く機会を作っても良いと思います。	とても良い議論の場だと思います。
9					沼津市はPIを認めていない。議論することの虚しさを感じる。第3回勉強会でも指摘したが、沼津の将来像について様々な議論を展開している本席に、肝心な沼津市職員が誰もいない。しかも議会では、本件は既に決定したことだから出席することの必要性は認められないと、当局は答弁している。この落差をどう考えれば良いのか。